

## 令和3年度 第1回苫小牧市消費生活審議会開催結果

開催日 令和3年7月6日（火）  
場所 苫小牧市民活動センター 3階 会議室2  
開催時間 午前10時30分から午前11時50分

### 《会議概要》

- 1 開会
- 2 委嘱式
- 3 市長挨拶
- 4 議事
  - 会長、副会長の選任
  - 報告
    - 1 令和2年度消費者行政の取組状況について
    - 2 苫小牧市消費者教育推進計画の取組状況について
  - 協議事項
    - 1 令和3年度消費者行政の主な取組について
    - 5 その他
    - 6 閉会

### 4【議事】「会長・副会長の選任」

会長・副会長の選任について、審議委員より事務局一任との意見があり各委員の賛同を得た。事務局案どおり、会長に山内委員、副会長には坂田委員が選出されました。

### 【山内会長挨拶】

昨年に続き新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言、まん延防止等が数度にわたり出され、自宅にいる時間が長くなりました。しつこい訪問販売、電話勧誘などが増えています。また、ネット、テレビ等による販売も複雑・多様化して、私たち高齢者も本当に困惑しています。今、一人の被害者も出さないためには、消費者として正しい知識の普及、啓発をしていくことの大切さを痛感しています。皆様のご協力が必要です。どうぞご指導よろしく願いいたします。

### 【報告1】令和2年度消費者行政の取組状況について

資料として配布した「令和2年度消費者行政の取組状況」について「消費者行政の概要(冊子)」と併せ、「Ⅰ 消費生活行政」、「Ⅱ 消費生活相談行政」について事務局から事業の概要と令和2年度の取組実績の説明を行い、「Ⅲ 計量行政」につ

いては、消費者センターから相談受付状況の実績について説明を行いました。

■委員からの質問・意見等はありませんでした。

## 【報告 2】 苫小牧市消費者教育推進計画の取組状況について

資料として配布した「苫小牧市消費者教育推進計画の取組状況」について、「苫小牧市消費者教育推進計画(冊子)」と併せ、事務局から苫小牧市消費者教育推進計画の概要と、施策のこれまでの取組状況、未実施項目と課題について説明しました。

■委員からの質問・意見等はありませんでした。

## 【協議事項 1】 令和 3 年度消費者行政の主な取組について

資料として配布した「令和 3 年度消費者行政の主な取組」について「Ⅰ 消費生活行政」、「Ⅱ 消費生活相談行政」、「Ⅲ 計量行政」について、事務局から令和 3 年度に予定する事業の説明を行いました。

■委員から質問・意見等はなく、協議事項 1 は承認されました。

## 5 【その他】

### (山内議長)

ご承認いただきましたので、これで協議事項 1 を終了いたします。

せっかくの機会ですので、委員の方から他に何かございませんか。ガソリンの今後の状況などについては池田委員どうでしょうか。

### (池田委員)

今のガソリンの苫小牧市内の価格ですが、原油のコストが世界的に上がっている状況です。実際には元売りからの卸価格というのは、一か月以上、毎週のように 1 円とか、1.5 円の値上がりが続いております。今は全国平均のフルサービスのレギュラーガソリンが 160 円台になっている状況で、それから比べますと苫小牧のガソリンの価格はまだまだ低いと思います。

今後ですけれど、世界的にコロナワクチンの普及で、おそらく経済が V 字回復するということで原油価格が高止まりしていて今のところは安くなる要素がどこにもない。また、産油国も減産協調を依然として継続している状況なので、需給バランスからいくと価格的には消費者側からすればいい流れではない方向に行っているのかなど。売買するものは需給で価格が決まっていくのですが、燃料やプロパンについてもそうですが、特にガソリンは投機的な性格があるものですから、実

際には油がだぶついていたり、足りなかったりしていても、それに左右されず、地勢的な要因で上がり下がりするものですから、単純に上がる、下がるだろうというのは難しい部分があります。

今後はおそらく、じわじわと上がっていくのではないかと見ております。ガソリンに関しては以上です。

本当は灯油がもっと上がってもおかしくない水準になっていると思いますが、原油の処理で、ガソリンと灯油、重油も卸値が上がっている状況ですね。灯油は我々の暮らしに密接に関係しているエネルギー源なので、消費者の心理的な部分をかなり加味した価格ではないかと思えます。今日いらっしゃっている、コープさっぽろの今野委員さんの方が灯油の部分は詳しいのではないのでしょうか。

#### (山内議長)

これから灯油が必要な時期になってくるものですから、非常に価格の部分は気になります。

#### (今野委員)

灯油は、今言われた通り価格が上がっていると思うのですが、うち（生協）であまり値段を上げていない理由は、移動コストですとか、道内の拠点を見直し配送ルートを変える改善をここ3年間くらいでやっています。消費者の運動ですとか色々あったので、原価に反映しない形の社内取組を結構やっていて、その部分でどうにか維持しているという中身ですね。

うち（生協）で販売している色々な物がありますが、生鮮は天候にかなり左右される部分があります。例えば先日のように、高知の方で大雨が降るとナスの値段が上がるのですが、すぐには上がらず1週間か2週間後くらいにじわじわと来るようです。

3・4年前、皆さんもご存じと思いますが、帯広で大洪水がありましたよね。あの時のイモの価格は、すぐには畑が良くなならないということもあるので現在まで引きずっています。皆さんご存じで食べたことがあると思いますが、カルビーさんがイモを買い占めてしまうとなかなか市場に出てこないというのがあり、今年もイモの値段がかなり上がっています。

また、うち（生協）で形が悪い無骨野菜というのを販売しているのは、農家さんもかなり生活が厳しくなっているので生活ができるよう、そういう物を入れて販売しているのですが、それが来年くらいまで引きずるのではないかという事もあります。

今も天候には左右されていて、気温が上がらないとかなり厳しくなります。私、この間まで北見にいたのですが、農家さんが辞めるというのが増えているみたいです。メロン農家が2軒くらい辞めたというのがあるのと、コロナの影響で大きい

のは、労働者がいないので作物が出ても刈り取れないことがありますね。それでなかなか出せないというのが現状で、この間も日高でほうれん草が出来たけれども卸せない。消費者にはあげたいけれども出来ないということが出てきているところです。

北見にいた時も、水産業で50人くらい外国人がいたのですが、帰るといなくなってしまうので労働者が厳しくて生産ができない。消費者に流すまでには会社経営があるので値段が上がるという部分で影響が出てきているというのもあります。

**(山内議長)**

どうもありがとうございます。他に、事務局の方から何かありませんか。

**(事務局)**

今後、消費者教育の啓発や情報発信の取組の部分で委員の皆さんにご協力をお願いする場面が出てくると思います。その際は、個別にお願いに上がりますので、ぜひご協力をよろしくお願いいたします

## 6 閉会